FMMCUニュース 第132号
2021年2月18日（木）
発行 船橋市立医療センター職員労働組合
TEL 436－3093

新型コロナウイルス感染症対応、お疲れ様です。

医療センターの職員へ
組合から陣中見舞い！

組合から医療センター当局へ

★組合から医療センター全職員へ支援を

ようやく新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まろうとしていますが、組合はこのコロナ禍で懸命に働いている医療センター全職員（正規職員815名、会計年度任用職員255名、合計1070名）に対し「陣中見舞い」として何かできないか、職員の声を集められないかと議論し、全員にいきわたる分の健康補助食品と「ボイスカード（投書カード）」を配布することに決めました。

届けられた健康補助食品
１１１６食

★組合から総務課へ引き渡し

2月2日（火）13時 E 棟玄関で組合から総務課へ1116食と同数のボイスカードを引き渡し、現場への配布をお願いしました。

なお、ボイスカードは B 棟2階 ME 前（更衣室前）の組合掲示板に今回だけのボックス（左写真のピンクの箱）を設置しました。

ボイスカードは掲示板のピンクのボックスへ

組合に入っている、入っていない関わらず、皆さんの今の思いを書いて投函ください。

今回の活動には船橋市役所職員組合から物資の仕分け、運搬等に協力いただきました。また物資の供給には船橋市夏見台の（株）ネケッツトータルさんのご協力もいただきました。

医療センター職員組合独自の「コロナ陽性見舞金」を検討中

組合では現在組合員が新型コロナウイルス感染症にかかった場合、傷病見舞金の給付が可能ですが、陽性反応があった場合、入院、ホテル・自宅での療養問わず、別途「コロナ陽性見舞金（仮称）」を組合から給付できないか検討しています。

このコロナ禍で組合が出来ることは何か。皆さんに配布した「みんなの働く職場要求アンケート」や「ボイスカード」に書いて意見アイデアを聞かせてください。

コロナ分担。中等症は公立病院に

厚生労働省は 2 月 16 日、新型コロナウイルスの患者の受け入れについて、重症は大学病院中等症は公立・公的病院が担当するなど、病院の役割分担を進めるよう、都道府県や政令市などに要請しました。

感染症が拡大しても、病床の逼迫を避けられるよう、医療体制を整えようとするものです。

要請文書では、重症患者の受け入れは、大学病院など、高度医療に対応できる医療機関に担わせるそうです。中等症患者は公立・公的病院など、地域の中核的な病院が担当する。地元の医師会などの協力を得て、病棟単位や医療機関単位で新型コロナ専用の施設を確保するよう促します。

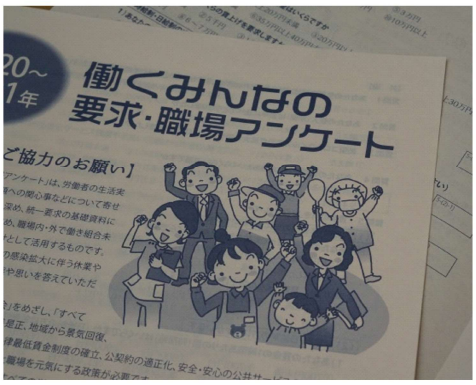
人材不足対策では、新型コロナ患者を受け入れる病院への医師、看護師らスタッフの派遣なども促している。

「みんなの働く職場要求アンケート」にご協力を！

医療センターは来週　2月25日（木）職場へ昼頃、回収に行きます。

「みんなの働く職場要求アンケート」は春先に全国で一斉に行われるアンケートで、船橋市役所とどうじに行っています。医療センターだけの集計の結果やコメントの紹介などは全国集計の前に皆さんに報告いたします。またこれを要求につなげます。

ご協力お願いします。



慶弔金の申請を忘れていませんか？

組合の慶弔金の申請受付期間は事由発生後2年までです。ご結婚、ご出産、お子さんの入学や、病気、けが等をされた方は忘れずに届け出てください。

特に長期勤続祝い金（勤続15年、20年、25年、30年、35年、40年）については年度末が近づいているため、今一度ご自身の入所日をご確認ください。

わからなければ、組合　松山　（TEL 047-436-3093）まで。